

趣旨

御嶽山は噴火警戒レベル1で火山活動は静穏化傾向を示しているが、地獄谷火口から概ね500m範囲内は必要な安全対策が整うまで立入規制を継続中。
御嶽山が再び安全に登れる山となることを目指し、立入規制緩和に向け、地元町村と長野県が安全対策を計画的に推進する。

基本方針

- ◎ハード・ソフト両面の安全対策を実施し、平成26年の噴火災害時よりも安全性を向上させる。
- ◎必要な安全対策が整った範囲から規制を緩和する。
- ◎火山活動に関する正確な情報発信・伝達を行う。

ハード対策

ポイント

- 火山活動の変化を的確に検知し、迅速に登山者等に伝達できる
- 予測不能な突発的噴火の際、避難できる施設が整備されている
- 噴火警報発表時、噴火時に登山者等が安全・迅速に退避できる

ソフト対策

項目	実施主体	H30以前	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6以降
避難施設	御嶽頂上山荘	木曾町	シェルター整備★					
	御嶽剣ヶ峰山荘	木曾町 王滝村	危険防止措置★	解体、避難施設整備				
	二ノ池山荘	木曾町	アラミド補強★					
	石室山荘	木曾町	アラミド補強★					
	神社施設	御嶽神社 ※木曾町	(祈禱所再建、社務所改修)					
避難路(登山道補修)	木曾町	※アラミド補強を支援し、緊急時避難施設にする。	二ノ池～剣ヶ峰★					
情報伝達設備	木曾町		屋外スピーカー設置★	防災無線整備				
			携帯電話不感対策(調査、設計、基地局整備)					

【☆印】実施 ⇒ 規制緩和①(二ノ池～剣ヶ峰)

項目	実施主体	H31(R1)以前	R2	R3	R4	R5	R6以降
避難施設	パトロール員待機所	王滝村	設置(9合目)			避難施設に常駐	
	王滝頂上避難施設	王滝村	王滝頂上山荘撤去	避難施設整備	運用開始		
	王滝頂上退避舎	王滝村	アラミド補強				
	シェルター	王滝村	設置(王滝頂上)		新設(八丁ダルミ大岩下) 移設(まごころの塔)	八丁ダルミ2基 運用開始	
避難路(登山道補修)	王滝村	9合目～王滝頂上	王滝頂上～八丁だるみまごころの塔～二ノ池トラバース	八丁ダルミまごころの塔～剣ヶ峰			
情報伝達設備	王滝村		防災無線整備			携帯電話不感対策 (周知看板の設置など)	

【◆印】実施 ⇒ 規制緩和②(9合目～王滝頂上)

【●印】実施 ⇒ 規制緩和③(二ノ池トラバース)

【○印】実施 ⇒ 規制緩和④(まごころの塔～剣ヶ峰)

登山指導所設置

火山活動・規制等情報提供
登山計画書・安全装備確認

パトロール隊・パトロール員の配置拡充

火山活動監視、登山者滞留防止指導

注意喚起標識の設置

規制解除(緩和)エリア内

情報伝達手段確保

山頂登山者等への警報等伝達ルート確立

避難計画等整備等

避難誘導マニュアル・訓練、避難促進施設指定、
避難確保計画策定支援、地域防災計画の整備

情報発信、防災啓発・教育(平常時)

- ・火山活動、規制情報等リアルタイムの情報提供、御嶽山の魅力発信
- ・御嶽山火山マイスター養成、防災教育
- ・御嶽山ビジターセンターの活用
- ・「信州 火山防災月間」(8月28日～9月27日)を中心に、各種行事等情報発信